

モニタリング分析【令和5年8月31日 公表】

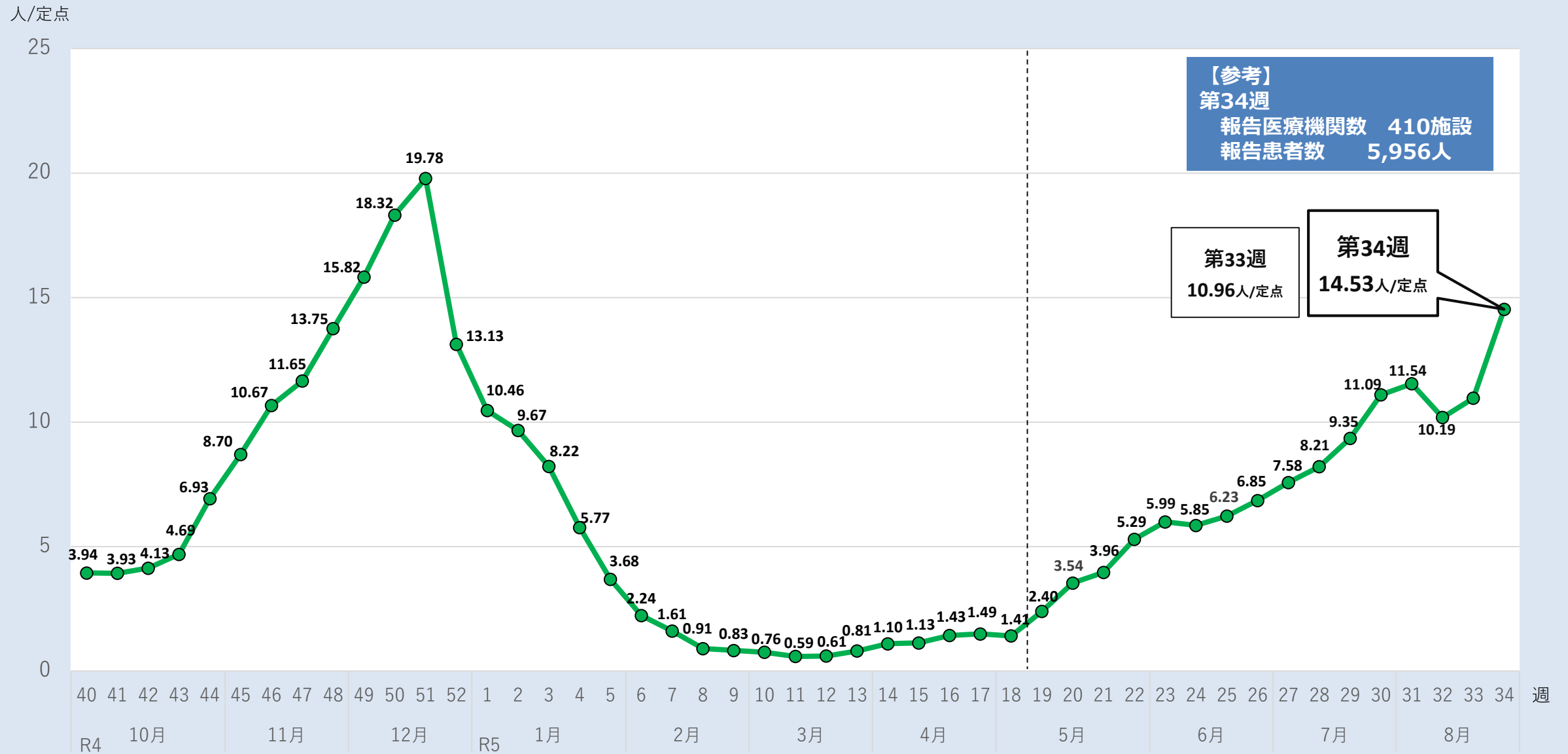
モニタリング項目 ※①は7日間の合計、②③は7日間移動平均で算出 ※⑤は上位3つの変異株の割合を抽出		今週 (令和5年8月31日 公表)	前週 (令和5年8月24日 公表)	
感染動向	① 定点医療機関当たり患者報告数 【定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数】	14.53人/定点 (第34週 (8/21-8/27))	10.96人/定点 (第33週 (8/14-8/20))	
	② #7119(※1)における発熱等相談件数 【7日間移動平均】	171.7件 (8/30)	182.6件 (8/23)	
医療提供体制 への負荷	③ 救急医療の東京ルールの適用件数(※2) 【7日間移動平均】	194.9件 (8/30)	193.9件 (8/23)	
	④ 入院患者数 【入院患者の総数】	2,684人 (8/28)	2,686人 (8/21)	
変異株監視	⑤ 病原体サーベイランス (ゲノム解析) 【都内検体の直近のゲノム解析結果】	EG.5 (XBB.1.9.2の亜系統)	31.3% (8/7-8/13)	20.0% (7/31-8/6)
		XBB.1.16	22.2% (8/7-8/13)	28.0% (7/31-8/6)
		XBB.2.3	11.1% (8/7-8/13)	7.0% (7/31-8/6)
【参考】VRSデータによる都民のワクチン接種状況 令和5年春開始接種（令和5年5月8日開始）高齢者（65歳以上）(※3)		55.3% (8/27)		

専門家による分析

■ 定点医療機関当たり患者報告数は増加している。前週は診療日数減少の影響を受けており、今週先週比の評価には注意が必要である。
■ 年代別に見ると、10歳未満や60歳以上の増加が目立っている。特に重症化リスクが高い高齢者等の感染拡大を警戒する必要がある。
■ 東京ルールの適用件数は高い水準で推移している。搬送に長時間かかる事例も発生しており、救急医療のひっ迫が懸念される。
■ 入院患者数は高い水準が続いている。幅広い医療機関での入院受入は進んでいるが、それに伴う一般医療への影響が危惧される。
■ 換気、場面に応じたマスク着用、手洗いなどの基本的な感染防止対策とともに、体調が悪いときは外出を控えるよう周知する必要がある。
■ 重症化予防のため、リスクの高い高齢者等は、ワクチンを接種することが望ましい。

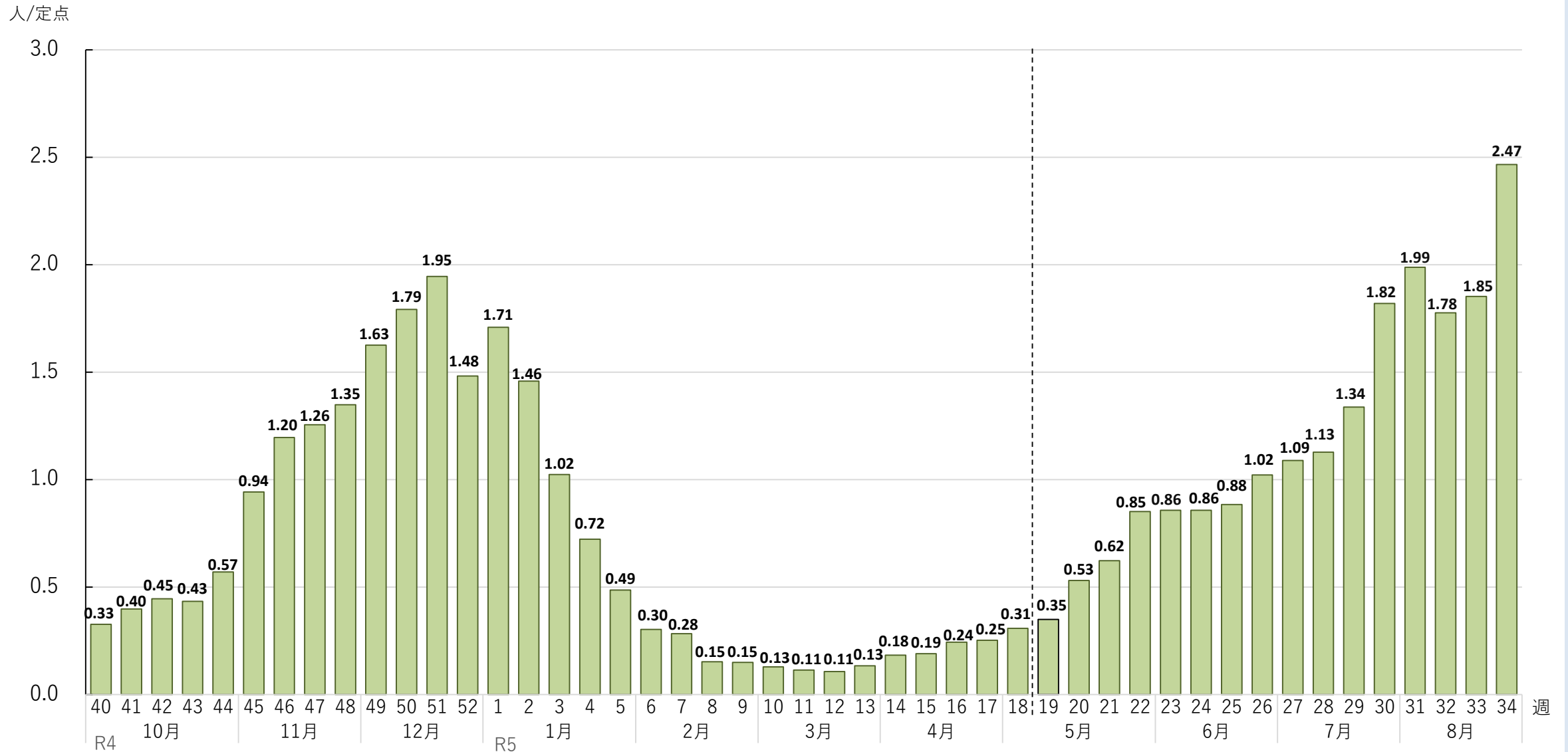
※1 東京消防庁救急相談センター。急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口
 ※2 救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案
 ※3 春開始接種は9月19日で終了予定。なお、秋開始接種は9月20日開始予定

①-1 定点医療機関当たり患者報告数



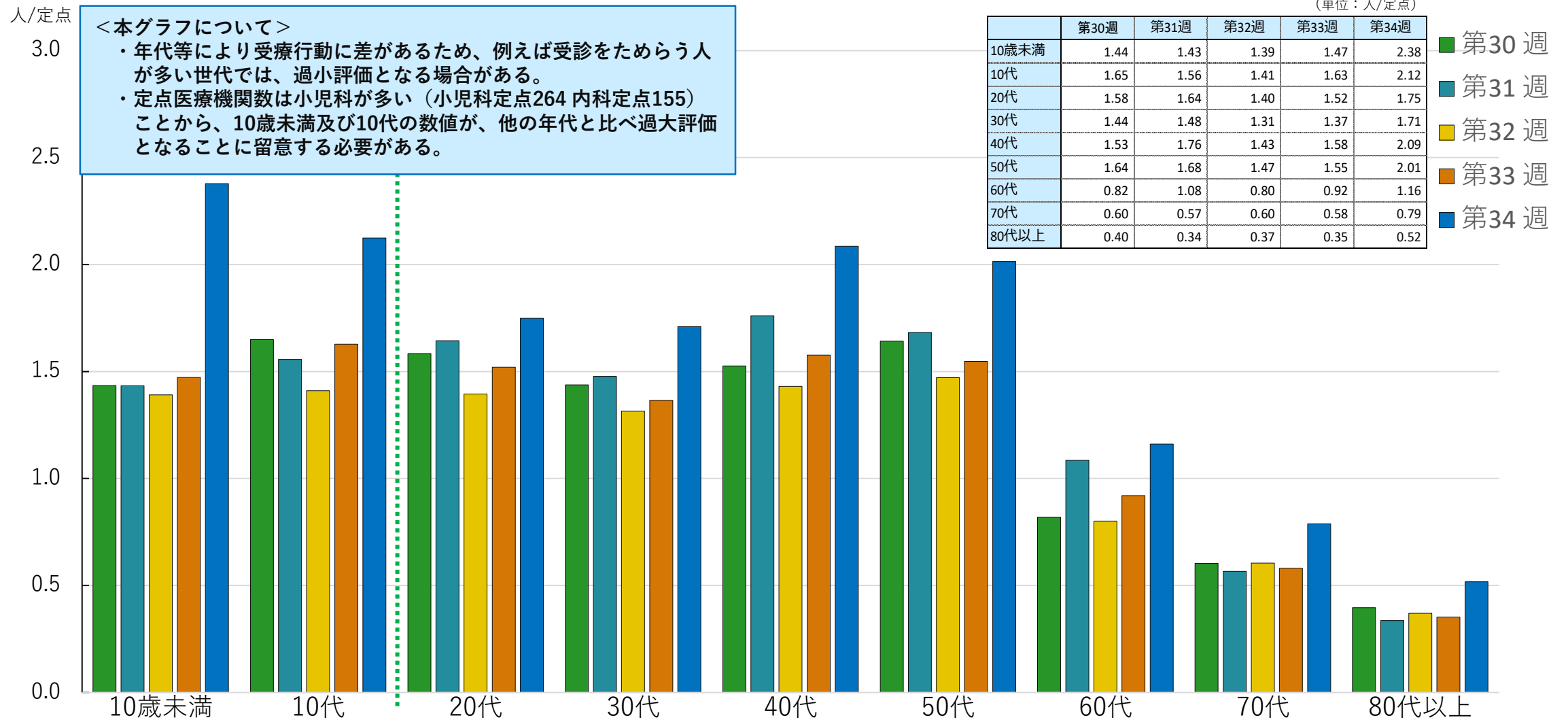
(注) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

①-2 60歳以上の定点医療機関当たりの患者報告数



(注) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

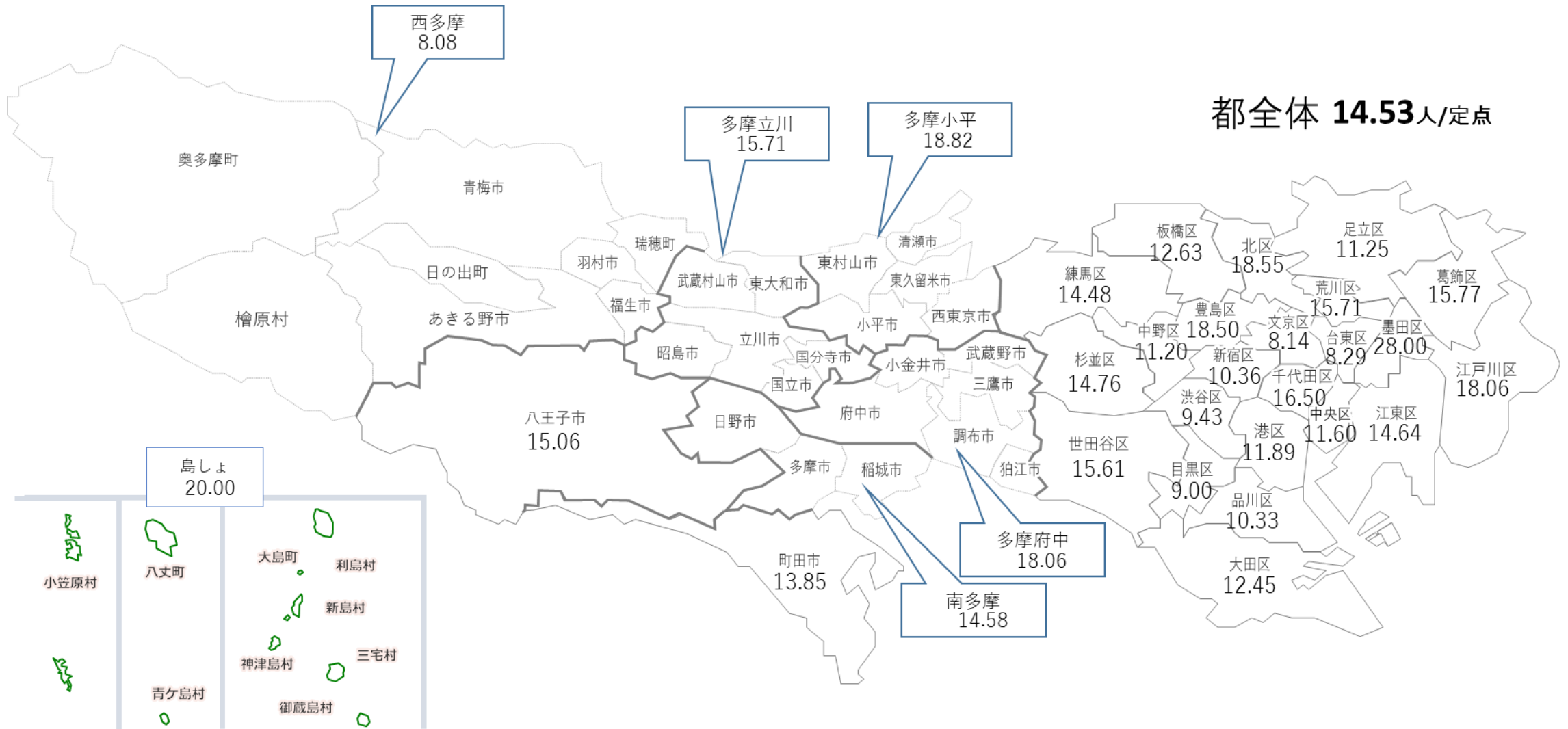
①-3 定点医療機関当たり年代別患者報告数



(注1) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

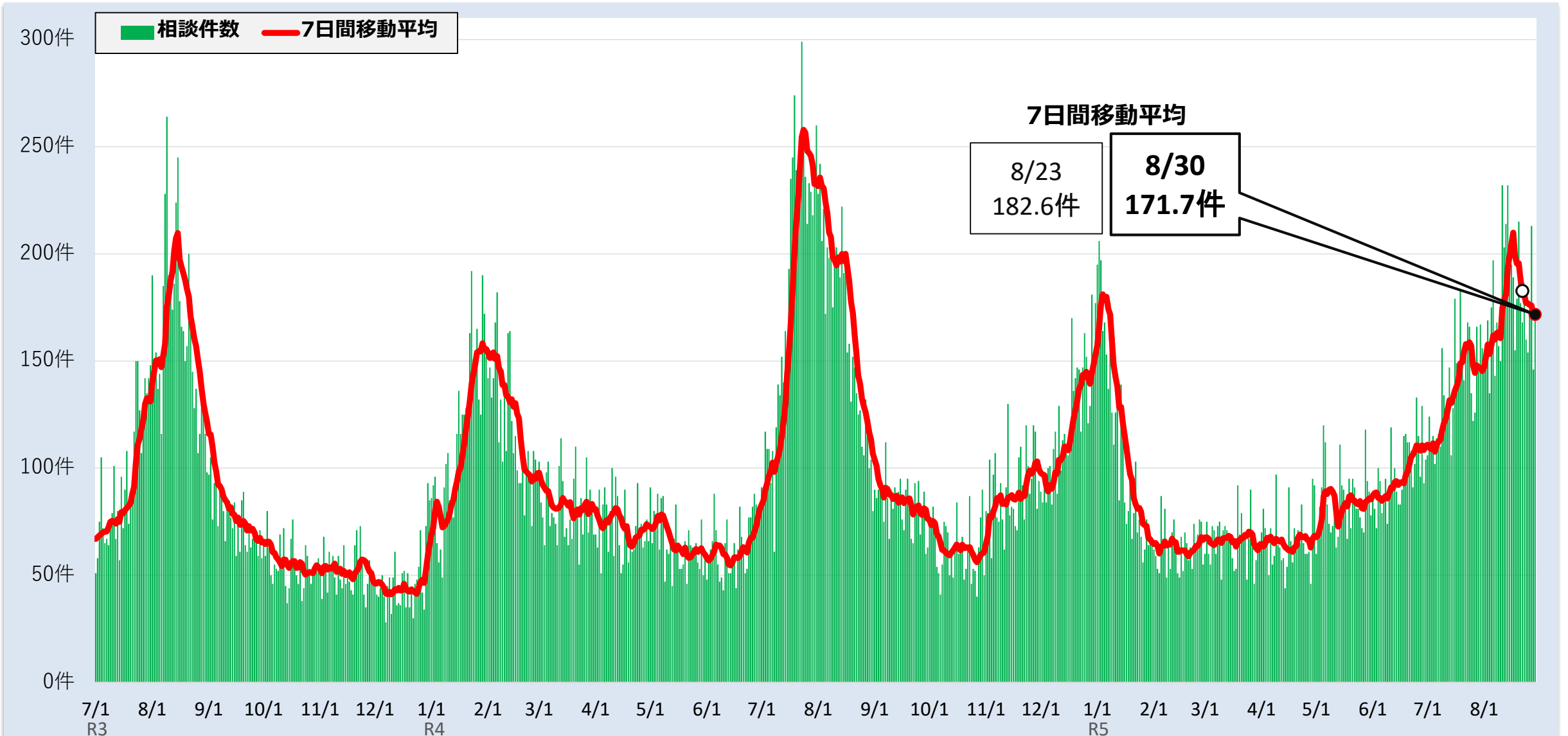
(注2) 年代別の定点当たり報告数は小数点以下第3位を四捨五入しているため、合計しても、必ずしも総数とは一致しない

①-4 定点医療機関当たり患者報告数(保健所区域別、第34週(8/21~8/27))



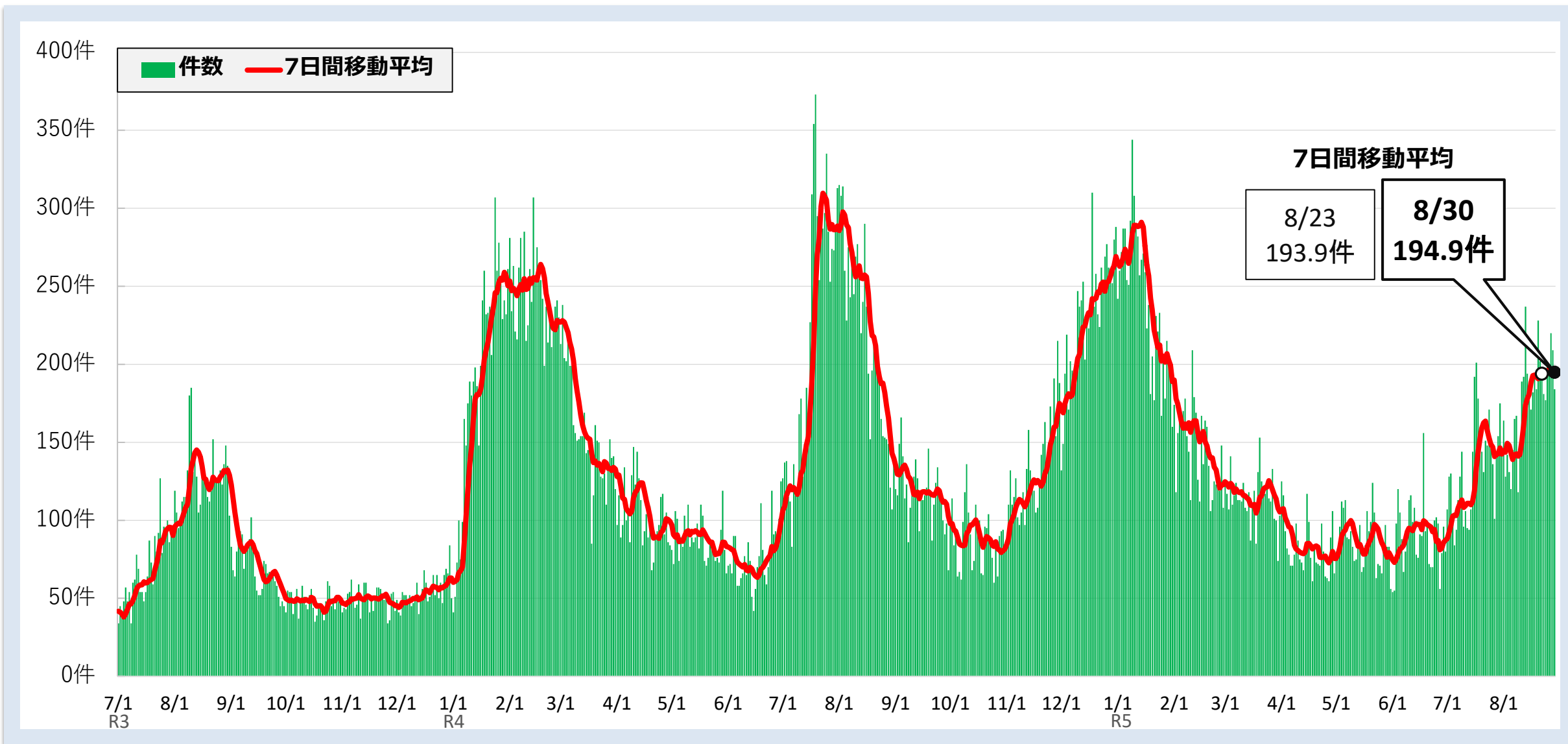
(注) 各保健所の定点医療機関から報告のあった患者数/各保健所の報告のあった定点医療機関数

② #7119における発熱等相談件数



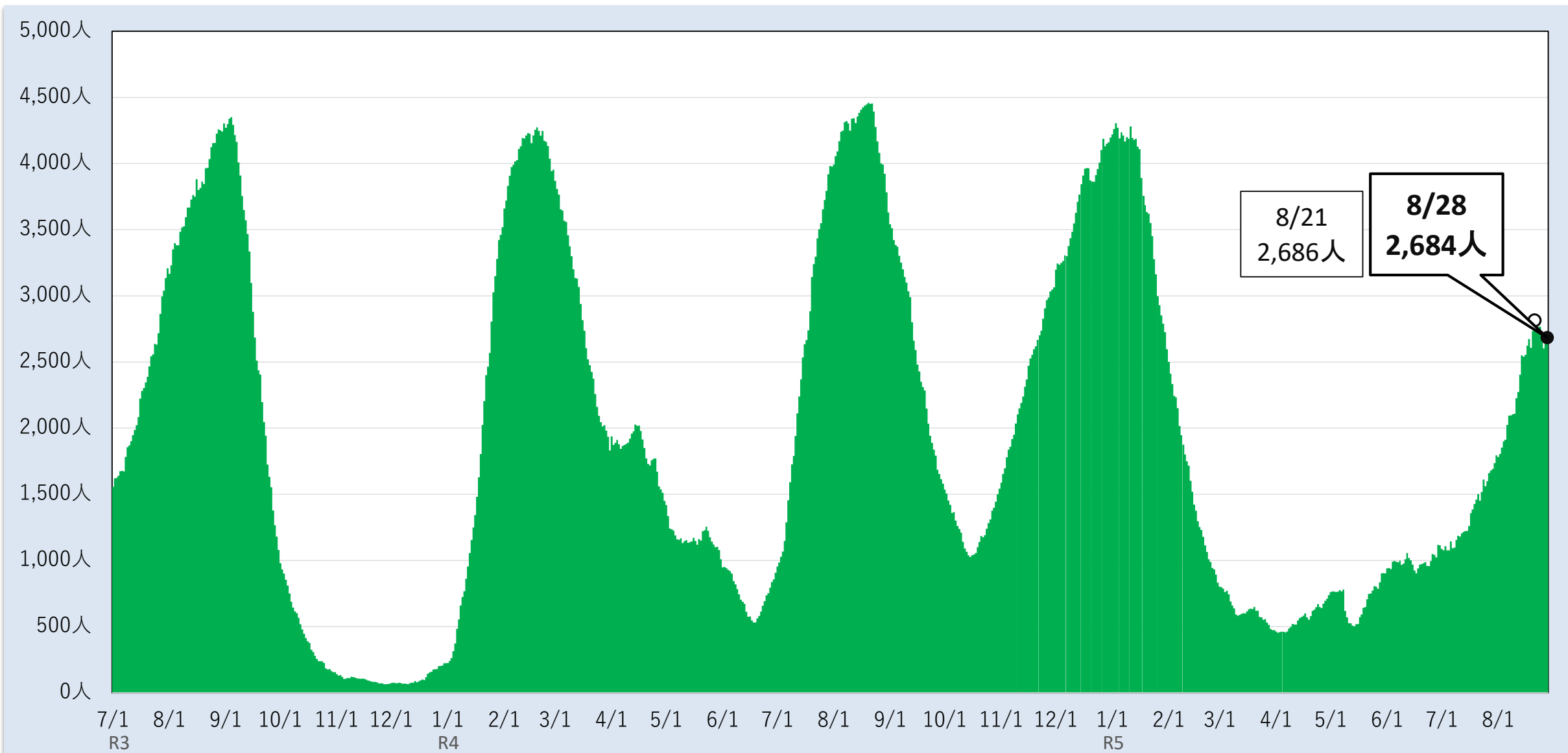
(注) 曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を相談件数として算出

③ 救急医療の東京ルール適用件数



(注) 曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を適用件数として算出

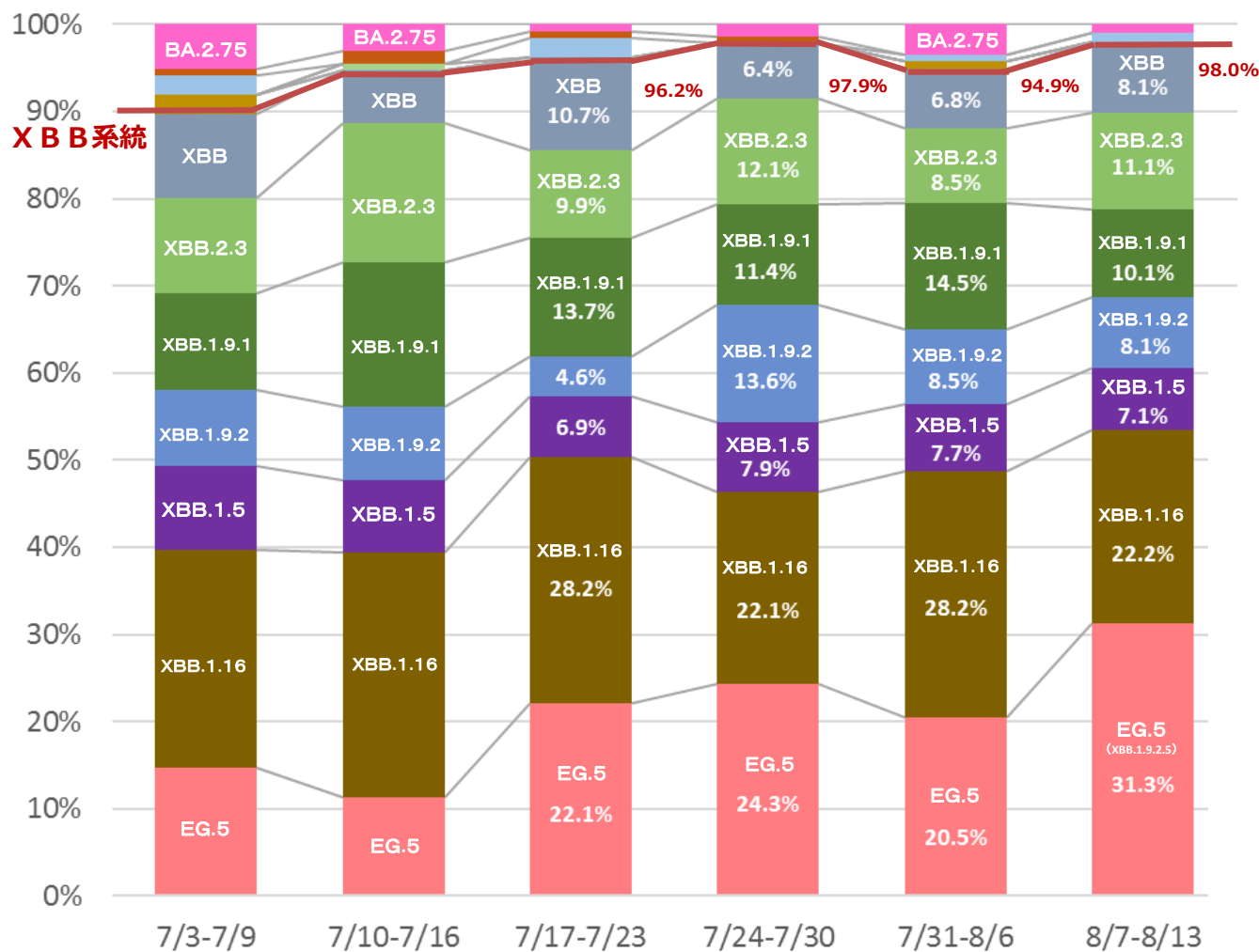
④ 入院患者数



(注) 医療機関からの報告に基づき、遡って修正が加わる可能性がある

⑤ 病原体サーベイランス（ゲノム解析）

（令和5年8月31日12時時点）



	7/31-8/6	8/7-8/13	増減	(実数)	
				7/31-8/6	8/7-8/13
EG.5 (XBB.1.9.2の亜系統)	20.5%	31.3%	↑	24	31
XBB.1.16	28.2%	22.2%	↓	33	22
XBB.2.3	8.5%	11.1%	↑	10	11
XBB.1.9.1	14.5%	10.1%	↓	17	10
XBB.1.9.2	8.5%	8.1%	→	10	8
XBB	6.8%	8.1%	↑	8	8
XBB.1.5	7.7%	7.1%	↔	9	7
BA.2.75	3.4%	1.0%	↓	4	1
BA.5	0.9%	1.0%	→	1	1
組換え体 (XBB以外)	0.9%	0.0%	↔	1	0
BN.1 (BA.2.75の亜系統)	0.0%	0.0%	→	0	0
BA.2	0.0%	0.0%	→	0	0
BQ.1 (BA.5の亜系統)	0.0%	0.0%	→	0	0
BQ.1.1 (BA.5の亜系統)	0.0%	0.0%	→	0	0

※ 都内検体の、過去6週に報告を受けた、ゲノム解析の実績(速報)

※ 追加の報告により、更新する可能性あり

※ BA.2とBA.2.12.1とBA.2.75とBN.1は別々に計上。BA.4とBA.4.6は別々に計上。BA.5とBF.7とBQ.1とBQ.1.1は別々に計上。XBB.1.5とXBB.1.9.1とXBB.1.9.2とEG.5とXBB.1.16とXBB.2.3は 別々に計上(XBBは左記以外のXBB系統)。(報告時点でのPango系統による)

※1.0%pt以上の増減 ↑ ↓
0.5%pt以上の増減 ↔ ↔

【参考データ】国が定める5類移行後の住民への注意喚起等の4つの目安【令和5年8月31日 公表時点】

(令和5年8月31日 公表時点)

【参考データ】国が定める5類移行後の住民への注意喚起等の4つの目安		国が示す目安	都に当てはめた値	現在の都の値
外来ひっ迫状況	①外来ひっ迫状況調査	外来ひっ迫ありの回答が25%を超えるとき	25%を超えるとき	14.7% (第34週)
	②定点あたり患者報告数	第8波以降の「外来ひっ迫あり」割合のピーク時から2週間前の「定点あたり報告数」を超えるとき	19.78人/定点 を超えるとき	14.53人/定点 (第34週)
病床ひっ迫状況	③在院者数(入院患者数)	第7波又は第8波のピーク時の1/2を超えるとき	2,230人以上	2,684人 (※) (8/28)
	④確保病床使用率	50%を超えるとき	50%を超えるとき	48.7% (8/28)

※ 国が示す目安は超えたものの、都においては、高齢者等医療支援型施設や確保病床以外の入院も進んでいる。